

医療事故調査教育セミナー2024

(統括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、
歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者向け)

重大医療事故の調査における悩みに答える

会期： 2024年3月26日(火・午後)～27日(水)

会場： オンライン講演会 (Zoom使用)

主催： 国際医療リスクマネジメント学会

プログラム

趣旨： 厚労省では全国にけるすべての医療施設に対して医療事故死亡の発生時に院内における医療事故の原因調査を義務化しました。

本教育セミナーでは、医療機関で安全管理業務を担当される方を対象として、重大事故発生時の事故調査の実施における深刻なお悩みを解決方法するために、この分野の実務熟練者と様々な専門家をお招きしました。

本セミナーはコース制で、2日間参加申し込みのみを受け付けます。

また、本セミナーは学会認定「医療安全高度専門家」資格制度、学会認定「医療安全アドミニストレーター」資格制度ならびに学会認定「医療安全コンサルタント」資格制度の必須科目でもあります。

参加者には受講証明書を発行いたします。

受講対象者： 医療従事者、統括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療リスクマネージャー、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者、その他の医療福祉関係者。医療での職種は問いません。

試験は実施されません。

2024年3月26日(火) 13:00～16:00
事故発生直後の対応

ネット接続開始 12:00

13:00～13:20 医療事故調査における諸問題
藤田 眞幸 (慶應義塾大学医学部法医学教室 教授)

13:00～16:00 **【特別企画①】** 事故発生直後の対応のありかた
(現場の保存から遺族への初期対応まで)

13:20～14:00 事故原因を究明し、再発防止を検討する上で大切なものは何か
小松原 明哲 (早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授)

14:10～14:50 事故発生直後の対応の経験(大病院の事例)
工藤 篤 (東京医科歯科大学病院院長補佐・医療安全管理部長・病院教授)

15:00～15:40 事故発生直後の対応の経験(中規模病院の事例)
新村 美佐香 (横浜メディカルグループ 医療安全推進部部長・
医療法人五星会菊名記念病院 医療安全管理室室長)

15:40～16:00 総括
藤田 眞幸 (慶應義塾大学医学部法医学教室 教授)

16:00 第1日目終了

2024年3月27日(水) 10:00～16:00
事故調査体制と遺族への対応

ネット接続開始 9:30

10:00～12:00 **【特別企画②】** 医療事故調査委員会の構成と外部委員の選定・役割とは

10:00～11:00 医療事故調査委員会の構成・役割と法的諸問題

～アメリカ法との比較の視点から理解する日本の制度
児玉 安司（新星総合法律事務所 弁護士・一橋大学法科大学院客員教授）

11:10～12:00 医療事故調査委員会の構成と役割-当院の経験から

長島 久（富山大学病院副病院長・医療安全管理部部長・教授）

12:00～13:00 休 憩

13:00～16:00 **【特別企画③】** 医療事故調査と遺族への対応のあり方

13:00～13:30 遺族への対応-我々の病院での経験

（事故調査結果に関する遺族への説明と時期、配慮すべきことなど）
高本 眞一（社会福祉法人賛育会賛育会病院院長・東京大学名誉教授）

13:30～14:00 遺族への対応においてとくに配慮すべきこと

小田 克彦（岩手県立中央病院医療安全管理部長・循環器センター長・心臓血管外科長・東北大学臨床教授）

14:00～14:10 休 憩

14:10～14:40 医療事故被害者の声-遺族が求めるもの(1)

（いつ 何をしてもらいたかったか 評価できたこと 改善して欲しいことなど）
勝村 久司（患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人）

14:40～15:10 医療事故被害者の声-遺族が求めるもの(2)

（いつ 何をしてもらいたかったか 評価できたこと 改善して欲しいことなど）
豊田 郁子（患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人架け橋理事長）

15:10～16:00 病院に求められる遺族対応-弁護士立場から
(法的な面から求められること、問題となるのはどのようなことかなど)
水谷 渉 (駒込たつき法律事務所 弁護士)

16:00 全コースの終了

C) IARMM 2023 このホームページはリンク自由です。